

平成27年度 館山市放課後子ども教室実施報告

1. 事業の目的

館山市内の小学校区において、主に木曜日の放課後、小学校の施設等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動・遊びなど豊かな体験の場を創出し、地域の人や他学年との交流を図りながら、子どもの社会性を育むことを目的とする。

2. 事業概要

教室名	活動場所	活動状況	スタッフ	平均参加児童数
北条放課後子ども教室	パソコン教室 図書室	開催日：主に毎週木・金曜日 時間：15時15分～16時30分 年間：40日（43回）開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ13名	16人 （学年・組を対象に希望制）
神余放課後子ども教室	図書室 校庭	開催日：毎週木曜日 時間：15時～16時30分 （冬季は16時まで） 年間：32日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ約20名	15人 （毎回希望制）
九重放課後子ども教室	図書室 体育館	開催日：毎週木曜日 時間：14時45分～16時15分 （冬季は15時45分まで） 年間：23日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ8名	22人 （毎回希望制）
西岬放課後子ども教室	校庭（雨の日は体育館） プレイルーム	開催日：木曜日 時間：14時30分～16時 年間：24日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：4名 ※登録スタッフ10名	44人 （毎回希望制）
那古放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：19日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ4名	28人 （学年を対象に希望制）
船形放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：16日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ：7名	19人 （毎回希望制）
豊房放課後子ども教室	図書室 体育館	開催日：木曜日 時間：15時15分～16時30分 （冬季は16時まで） 年間：25日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ9名	25人 （毎回希望制）

館野放課後 子ども教室	理科室	開催日：木曜日 時間：14時45分～16時 年間：21日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：2名 ※登録スタッフ9名	33人 (毎回希 望制)
神戸放課後 子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：14時45分～16時15分 (冬季は16時まで) 年間：22日開催	教育活動推進員：1名 教育活動サポーター：3名 ※登録スタッフ15名	24人 (毎回希 望制)

3. 活動内容

○北条放課後子ども教室

- ・平成16年の地域子ども教室推進事業から実施し、開設12年目。児童数が多いため、学年を決めてクラスごとに教室の申込を行っている。
- ・パソコンの教室では、教育活動推進員が、学年に応じたカリキュラムでパソコンの学習を行い、高学年へはプログラミングを学ぶ内容を取り入れている。
- ・保護者と学校支援の方による本の読み聞かせの教室では、お話し会の内容を工夫し、工作等も取り入れている。



○神余放課後子ども教室

- ・開設12年目。
- ・学校・PTA・地域住民で組織している「神余子育て推進委員会」が母体となって事業を実施している。
- ・内容は、自主学習の他、工作、ホタル観察、山登りなど。
- ・全校児童の大部分が参加しており、子どもたちは多彩な教室を楽しみにしている。
- ・神余カードをスタッフが作成し、集める楽しみとなっている。
- ・夏休みプール解放日は、午前に放課後子ども教室を開催し、プール解放まで時間を延長している。



○九重放課後子ども教室

- ・開設9年目。
- ・保護者、学校支援の方、サークル団体等が教育活動推進員として教室を進めている。
- ・第1・2・4週は、宿題とスポーツ、レクリエーション、工作を中心に実施。
- ・第3週は、語り部さんによる読み聞かせ（槇の会）を実施。
- ・平成27年度より、学童クラブと連携し教室運営を進めている。



○西岬放課後子ども教室

- ・開設8年目。
- ・スタッフは、地域の方、保護者で組織されている。
- ・内容は自主学習と自由遊び、スポーツや雨天プログラムを実施。夏休みには流しそめんや、ペットボトルロケットを実施。
- ・学区が広くバス通学の子が多いため、全校児童の6割以上の子どもたちが毎回教室に参加し、子どもたちの居場所になっている。それぞれ、帰宅方法を記したリボンに参加児童につけさせることによって、安全管理の工夫を行っている。



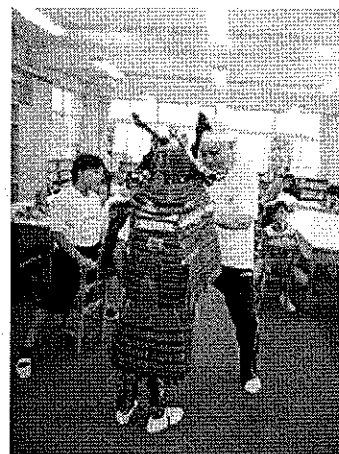
○那古放課後子ども教室

- ・開設8年目。
- ・スタッフは、地域の方や保護者。
- ・内容は、工作、スポーツ、竹とんぼ、アートセラピーなどを実施。実施する内容によっては、学年を分けて実施している。
- ・スタッフがそれぞれ持っている、趣味・資格・特技を活かした内容を提供している。
- ・参加希望者が多く抽選になってしまうため、学年を分け行った。



○船形放課後子ども教室

- ・開設8年目。
- ・スタッフは地域の方や保護者によって組織されている。
- ・工作、スポーツなどが主。スポーツではグラウンドゴルフが人気。
- ・スタッフが持っている、技能・知識を活かし、理科実験教室を行ったりもしている。
- ・出前講座を活用し、様々な講師から本格的な内容を教わった。
- ・実施する内容によっては、低学年と高学年と別々にした。



○豊房放課後子ども教室

- ・開設8年目。
- ・スタッフは地域住民のほか、学区外の住民も協力。スタッフに多彩な技術を持った方がいて、実施内容に活かされている。
- ・内容は、工作・スポーツ、カード遊びなど。
- ・豊房オリジナルカードと呼ばれるものをスタッフが作成。子どもたちが楽しみながら参加できるように工夫されている。
- ・季節の行事に合わせた工作を行い、日本の伝統的文化にも触れている。



○館野放課後子ども教室

- ・開設8年目。
- ・スタッフは地域の方や保護者、学区外の方も協力してくれており、スタッフの個性に応じたプログラムが開かれている。
- ・内容は、自主学习、工作、スポーツ、ゲーム等。外部講師をよんで実施されているソフトバレーボールが人気。
- ・夏休みには、人形劇観賞、マヨネーズ教室を実施した。



○神戸放課後子ども教室

- ・開設1年目。
- ・スタッフは、地域の方、保護者で組織されている。
- ・開設初年度ということで、「きずな」をテーマに全スタッフで協力し、料理教室、工作、スポーツ、ゲーム等様々な内容に取り組んだ。
- ・多くの参加があり、学年を絞って募集する教室もあった。
- ・放課後子ども教室、学校、学童クラブが連携し取り組んでいる。



4. 地域等とのかかわり

- (1) 学校：活動場所の提供・参加申込のちらしの配布ととりまとめ・日程調整
- (2) PTA（保護者）：教育活動推進員・教育活動サポーター・ボランティアスタッフ・実行委員会委員として事業に参画
- (3) 関係団体：・語り部サークル「槇の会」がスタッフとして協力。
 - ・技術・特技をもった方に外部講師として学習アドバイザーを依頼。
 - ・お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センターに講師を依頼。
 - ・スポーツ推進委員にソフトバレーの講師を依頼。

5. 安全管理対策

- ・スタッフが校内に入る際には学校の事務室等に声をかけ、名札、又は防犯ベストの着用を義務付け、不審者等の侵入を防いでいる。
- ・下校時は、明るいうちに帰宅できるよう安全に配慮している。（終了が完全下校を過ぎる北条放課後子ども教室では、保護者にお迎えをお願いしている）

6. 参加方法・費用

- ・学校を通じてチラシ（参加申込書）を配布し、学校またはスタッフがとりまとめ指導者に渡している。
- ・参加費は無料。但し、組立てキット等で個人が使用するもの、調理等で本人が口にするものについては実費負担。

7. 成果と課題

(1) 成果

- ・毎週木曜日の早帰りの日に、子ども達が宿題や遊びができ、放課後の学校施設が子どもにとっての安全・安心な居場所になっている。
- ・子ども達が、学習や遊びなどを通じて他学年との交流ができ、友達が増え、人間関係能力を育むことができる。
- ・もの作りや昔遊び、伝統的な遊び、読み聞かせなどの活動を通して、子ども達が豊かな心を育むことができる。
- ・子どもたちと地域の人、保護者と地域の人（移住してきた人も含む）とのつながりができ、またスタッフ、学校、PTA等が放課後子ども教室の活動や会合を通して、家庭・学校・地域が一体となり子どもを育てていくという意識を高めることができる。
- ・子どもたちと地域の人、保護者と地域の人（移住してきた人も含む）とのつながりができて、学校外でも挨拶などができるようになってきている。
- ・スタッフにとっても放課後子ども教室を通じ、子ども達とのふれあいを楽しむことができ、地域のコミュニティの場となっている。
- ・教室の内容を充実させることにより、子ども達は本格的なものを体験でき、講師の方も自身の活動・特技を披露する場所にもなっている。

(2) 課題

- ・スタッフの確保が難しい。スタッフが保護者の場合、子どもが卒業するとスタッフ意識が薄れてしまう傾向にある。
- ・主に木曜日実施のため、その日に塾や習い事をしている子どもは参加しにくく、参加者が固定化しやすい。
- ・大規模校の場合、参加人数を制限し実施しなければならないため、年間を通して参加できる機会が限られてしまう。
- ・子ども達の子期せぬ動きや、送迎の車の出入りなど安全面に注意が必要。
- ・当日のキャンセルや、参加を忘れてしまう子への対応が課題。
- ・放課後子ども教室でのルール作りや、子どもと大人の接し方等けじめのある教室運営が必要である。